

図書館再編の取組について

【I】中央図書館の整備について



〈基本設計後・完成イメージ(透視図:南東側外観)〉

1. 中央図書館実施設計について

- (1) 設計期間: 令和7年4月～令和8年3月
- (2) 設計業者: 株式会社 遠藤克彦建築研究所
- (3) 設計目的: 基本設計に基づき、建設工事に必要な詳細な設計図や、建築資材、設備の仕様を定め、工事費の積算を行う段階。
- (4) 今後の日程(予定): 令和7年度 実施設計、令和8年度～ 工事着手

2. 検討を進めている事項(主なもの)

- (1) 利用者にとって利用しやすい書架(開架30万冊)の配置や形状
- (2) 様々な活用が可能でにぎわいのある広い交流スペースの活用イメージ
- (3) 資料の搬入や整理など効率的な運営が可能な事務スペース
- (4) 様々な利用に対応し、来館者が気持ちよく過ごせる座席の配置やイス・机
- (5) 図書館の建物に調和した周辺の外構や植栽の全体デザイン
- (6) 安全確保やアクセス向上を図るための中央図書館周辺道路
- (7) PC利用やWi-Fi環境に最適な電源や機器・設備の数量や設置場所
- (8) 快適な空間づくりや維持管理を考慮した床材や天井・梁など
- (9) 開かれた空間として利用できる出入り口などの広場活用イメージ

3. その他、検討中の事項

- (1) 図書館システムの検討
- (2) 中央図書館開館に向けた選書
- (3) 職員数や配置

4. 整備予定地の状況について

【II】東・西図書館と分館等との連携状況について

1. 返却の利便性向上に向けた取り組み

(1)3分館への返却ポストの設置(5月30日)

⇒ 東西図書館の本の返却が、窓口を経由せずに可能に。

(返却冊数実績)

・設置前:平均25冊／週(4～5月)

・設置後:平均54冊／週(6～10月)



(2)東西図書館で、分館で借りた本の返却を受取開始

(8月12日～)

⇒ 分館で借りた本は、東西図書館、分館3館の

いずれでも返却可能に。

(受取実績)合計44冊 平均4.4冊/週(10/20現在)

* 広報:メール配信(8/8)、広報まいづる(10月号)

2. 3分館の充実と利用拡大に向けた環境整備について

《南分館》

・本の日焼け軽減、書架の転倒防止の強化などのため、館内レイアウトを変更。

・古くなったり傷んでいた本の除籍作業を実施。

・本を選びやすくするため配架を整理。(一般書、児童書別をNDC順に整理)

・新規購入図書の配架による、新鮮な情報の提供。

《中分館》

・和田中学校の生徒が行っている中総合会館の居場所づくり検討に参加。

・除籍作業を実施。(継続中)*レイアウト変更についても検討中。

・新規購入図書の選書、配架を実施中。

《加佐分館》

・除籍作業→中分館の作業完了後に実施予定。

・新規購入図書の選書、配架を実施中

3. 大浦地区への図書館サービスの拡大に向けての取り組み

(1)大浦会館に東図書館の蔵書を貸出(7月8日～)

要望も聞きながら定期的に入れ替えを実施。(40～45冊/回)

(2)「出張おはなし会」を実施(8月8日)

(出張先:大浦小学校区地域放課後児童クラブ)

(3)自動車図書館(BM)のデモンストレーション及び

出張おはなし会を実施。

(実施予定日:11月9日(日)、大浦ふれあいサンデー)

